# 朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

#### 内閣拡大会議開催

2012年1月19日発『朝鮮中央通信』によると、同日付政 府機関紙『民主朝鮮』が内閣拡大会議を報じたと報道した。 会議には、崔永林総理をはじめ内閣メンバーが参加した。 オブザーバーとして、内閣直属機関の幹部と管理局長、道、 市、郡人民委員会委員長、道農村経理委員会委員長、道地 区計画委員会委員長、道食料日用工業管理局局長、重要工 場、企業所の支配人が参加した。

同会議では、昨年の人民経済計画遂行状況が総括され、 金正恩第1書記が新年の辞で提示した課題を貫徹するため の対策について討議され、また石炭工業と金属工業を掌握 し、人民経済の先行部門(石炭、電力、金属工業、鉄道運 輸)と基礎工業部門を盛り立て、すでに築かれた経済的土 台に依拠して生産と建設で飛躍をもたらすことで、経済強 国建設と人民生活の向上において転換的局面を開いていく ことが、今年の内閣の中心課題であると指摘し、その実行 のための課題と方途が提示された、と報じられている。

### 朝鮮労働党第4回細胞書記大会が平壌で開催

2013年1月28~29日、平壌で朝鮮労働党第4回細胞書記 大会が開催された。金正恩第1書記が開会の辞と2日目に 演説を行った。2013年1月31日付『朝鮮新報』は「大会で は、新たな時代のニーズと情勢に合わせて、党の末端機関 である党細胞の機能と役割を高め、全党を強化し、軍と人 民を強盛国家建設へ動員する上での問題が討議された」と

(表1) 1989~2012年の南北交易統計

報じている。

### 熙川発電所第2段階着工式開催

2013年1月30日発『朝鮮中央通信』によれば、同日、熙 川発電所第2段階の着工式が平安北道香山郡で行われた。 着工式には崔永林総理、朝鮮労働党の金己男書記、郭範基 部長、廬斗哲内閣副総理兼国家計画委員会委員長をはじめ とする中央と地方の幹部、建設に動員された幹部と建設者、 香山郡内の勤労者が参加した。

同工事は故金正日総書記の遺勲であり、金正恩第1書記 が推進する「崇高な大自然改造事業」であると位置づけら れている。

# 南北経済協力の動向

#### (1)南北交易額

韓国・統一省が2012年の南北交易額を発表した。南北関 係の悪化を受けて、委託加工貿易はゼロ、一般貿易も微々 たる金額となり、南北交易がほとんど開城工業地区との取 引となった。表1のとおり、2012年の南北交易は、19億7,110 万ドル(約1,833億円)となり、金額的には11年より増加し、 単年度では過去最高となった。

# (2)人的交流

観光を除く南北間の往来を見ると、表2のとおり、南か ら北への訪問が12万360人北から南への訪問はゼロであっ た。11年と比較すると4%弱増加した。

(ERINA調査研究部長・主任研究員 三村光弘)

						(単位:1	,000米ドル)
年度	搬入			搬出			A = I
	計	うち委託加工	うち開城工業団地	計	うち委託加工	うち開城工業団地	合計
1989	18,655	0	0	69	0	0	18,724
1990	12,278	0	0	1,188	0	0	13,466
1991	105,719	0	0	5,547	0	0	111,266
1992	162,863	638	0	10,563	200	0	173,426
1993	178,167	2,985	0	8,425	4,023	0	186,592
1994	176,298	14,321	0	18,249	11,343	0	194,547
1995	222,855	21,174	0	64,436	24,718	0	287,291
1996	182,400	36,238	0	69,639	38,164	0	252,039
1997	193,069	42,894	0	115,270	36,175	0	308,339
1998	92,264	41,371	0	129,679	29,617	0	221,943
1999	121,604	53,736	0	211,832	45,883	0	333,437
2000	152,373	71,966	0	272,775	57,224	0	425,148
2001	176,170	72,579	0	226,787	52,345	0	402,957
2002	271,575	102,789	0	370,155	68,388	0	641,730
2003	289,252	111,639	0	434,965	73,370	0	724,217
2004	258,039	107,746	52	439,001	68,213	41,634	697,040
2005	340,281	131,226	19,794	715,472	78,503	156,943	1,055,754
2006	519,539	159,387	75,943	830,200	93,571	222,853	1,349,739
2007	765,346	204,519	101,179	1,032,550	125,393	339,498	1,797,896
2008	932,250	257,345	290,103	888,117	150,965	518,342	1,820,366
2009	934,251	254,044	417,935	744,830	155,670	522,617	1,679,082
2010	1,043,928	222,505	705,268	868,321	95,054	737,588	1,912,249
2011	913,663	3,704	908,935	800,192	0	788,698	1,713,855
2012	1,073,952	0	1,073,128	897,153	0	892,976	1,971,105
2012				897,153	0	892,976	1,9/1,105

(出所)韓国・統一省『南北交流協力動向』2012年1~12月号

(表2) 2006~12年の南北間の人的交流統計(観光を除く)

(単位:人)

年	南→北	北→南	合計
2006	100,838	870	101,708
2007	158,170	1,044	159,214
2008	186,443	332	186,775
2009	120,616	246	120,862
2010	130,119	132	130,251
2011	116,047	14	116,061
2012	120,360	0	120,360
累計	932,593	2,638	935,231

(出所)韓国・統一省『南北交流協力動向』2012年12月号